

【案】

資料 2

令和 4 年 3 月 1 1 日

石狩市長 加藤 龍幸 様

第 2 期石狩市食育推進計画策定委員会
委員長 村田 まり子

第 2 期石狩市食育推進計画について（提言）

令和 3 年 8 月 3 1 日付け石農政第 1 7 7 号で提言依頼のありました第 2 期石狩市食育推進計画の策定について、別添「第 2 期石狩市食育推進計画」のとおり提言いたします。

食は命の源であり、私たち人間が生きていくためには欠かせないものです。しかしながら、社会情勢の変化や、様々な生活状況により食をめぐる環境は大きく変化しており、孤食や食の簡素化の増加、食習慣の乱れなどによる生活習慣病の増加、また、食品ロスや食の安全の問題、伝統的な食文化に対する意識の希薄化、さらには世界的に感染が拡大した「新型コロナウイルス感染症」による食生活の変化など、様々な課題を抱えております。

このような状況下においても、健全な食生活を送るためには、その基盤として持続可能な食を支える環境が不可欠であり、世界共通の目標である「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に向けた取り組みを推進するとともに、食育の基礎をつくることのできる子どもの時期から生涯にわたって食育を推進するため、家庭・地域・教育関係・生産者団体等と連携を図り、効果的に取り組む必要があります。

この提言は、当委員会が検討協議を重ねるなかで、石狩市の食育の現状や課題を整理し、今後 10 年間における食育の目指すべき姿や講じるべき施策の考え方をとりまとめたものです。

なお、各施策の実施にあたっては、検討経過における各委員の意見等に十分留意し、目指す姿である「食を通じて、子どもの心身の健康と生きる力を育む」の実現に向け、最大限努力されるよう要望いたします。